

2015年3月期決算説明会



2015年4月28日

1. 2014年度決算実績概要

2014年度実績(2014.4.1 - 2015.3.31) <対前年度実績>

ポイント 増収減益

(+、-、+/-、▲は利益に対する影響を示す、億円)

売上高	+1,804	+	都市ガス	(+1,358:原料費調整に伴う単価増+867、料金改定▲155、物量増+587、等)
		+	その他エネルギー	(+ 507:販売量増・単価増による電力売上増、販売量増・単価増によるLNG販売売上増、等)
営業費用	▲1,747	-	都市ガス原材料費	(▲1,312:価格改定・フレーム影響等による購入単価増▲805、数量増▲507)
		-	その他エネルギー	(▲527:販売量増・単価増による電力燃料費増、販売量増・単価増によるLNG販売原材料費増、等)
営業利益	+57	+	都市ガス	(+ 45:ガス粗利+60(うちスライド差+114、数量差+80、料金改定▲155)等)
		+	その他	(+ 79:プルード利益増に伴う海外事業利益増+79、等)
		-	器具・工事	(▲46:器具メンテナンス引当金繰入、等)
営業外収支	+29	+	専用設備料収入増	+ 24(5→29)
特別損益	▲197	-		(当期)減損損失▲309、固定資産売却益+61、投資有価証券売却益+50、等

(単位: 億円)

	2014年度	2013年度	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	15,541	14,735	+806	+5.5%
売上高	22,925	21,121	+1,804	+8.5%
営業費用	21,207	19,460	+1,747	+9.0%
営業利益	1,717	1,660	+57	+3.4%
経常利益…①	1,681	1,596	+85	+5.4%
当期純利益	958	1,084	▲126	▲11.6%

気温影響…②	▲33	▲19	▲14	—
スライドタイムラグ…③	278	164	+114	—
年金数理差異償却額…④	30	▲22	+52	—
補正経常利益①-(②+③+④)	1,406	1,473	▲67	▲4.5%

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)	年金	運用利回り ※コスト控除後	割引率	期末資産(億円)
14年度	109.76	90.35	16.0	13年度	1.61%	1.5%	2,730
13年度	100.17<+9.59>	110.01<▲19.66>	16.1<▲0.1>	12年度	6.10%	1.4%	2,760

<>内対前年度増減

期待運用収益率:2%

連結ガス販売量実績

前年度実績→今年度実績

806百万m³ (+5.5%)の増加

[うち気温影響▲52百万m³▲0.4%の減少]

■ 家庭用 +32百万m³ (+0.9%)

- 気温要因 ▲14百万m³
- 日数影響 0百万m³
- お客さま件数 +51百万m³
- その他 ▲5百万m³

■ 業務用 ▲94百万m³ (▲3.3%)

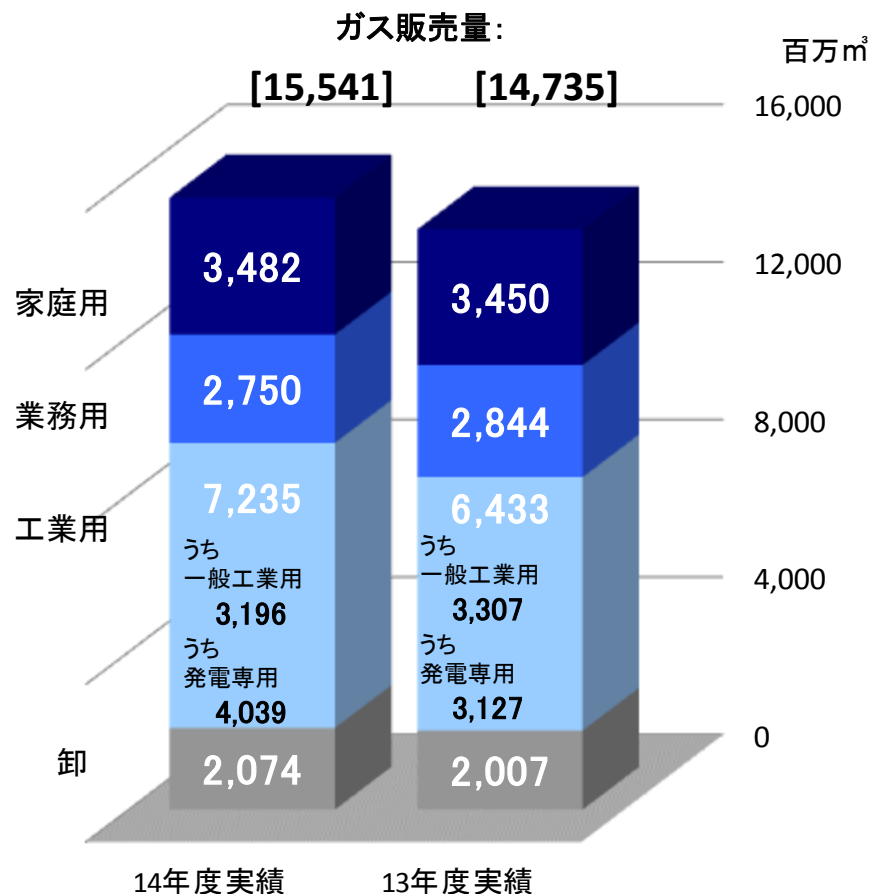
- 気温要因 ▲37百万m³
- 日数影響 ▲13百万m³
- お客さま件数 +12百万m³
- その他 ▲56百万m³

■ 工業用 +802百万m³ (+12.5%)

- 一般工業用: ▲111百万m³
- 発電専用: +912百万m³

■ 卸 +67百万m³ (+3.3%)

- 気温要因 ▲1百万m³
 - その他 +68百万m³
- 卸供給事業者需要増等



お客さま件数(万件)

2014年度実績	2013年度実績	増減
1,126.3	1,111.1	+15.2 (+1.4%)

	2014年度	2013年度	増減
LNG液販売量(千t)	920	784	+136
平均気温(°C)	16.0	16.1	▲0.1

実績

■ トーリングによるガス使用量込(単位:百万m3)

	14年度 実績	13年度 実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	15,541	14,735	+806 +5.5%
トーリングによる ガス使用量	1,669	1,510	+159 +10.6%
合計	17,210	16,245	+965 +5.9%

2020ビジョンベース: 18,360百万m³ 17,225百万m³ +1,135百万m³ (+6.6%)

■ 工業用ガス販売量内訳(単位:百万m3)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	1,589	2,450	4,039
対13年度実績	+1,008(+173.4%)	▲96(▲3.8%)	+912(+29.2%)
一般工業用	206	2,990	3,196
対13年度実績	+22(+11.5%)	▲132(▲4.2%)	▲111(▲3.3%)
合計	1,794	5,440	7,235
対13年度実績	+1,029(+134.4%)	▲228(▲4.0%)	+802(+12.5%)

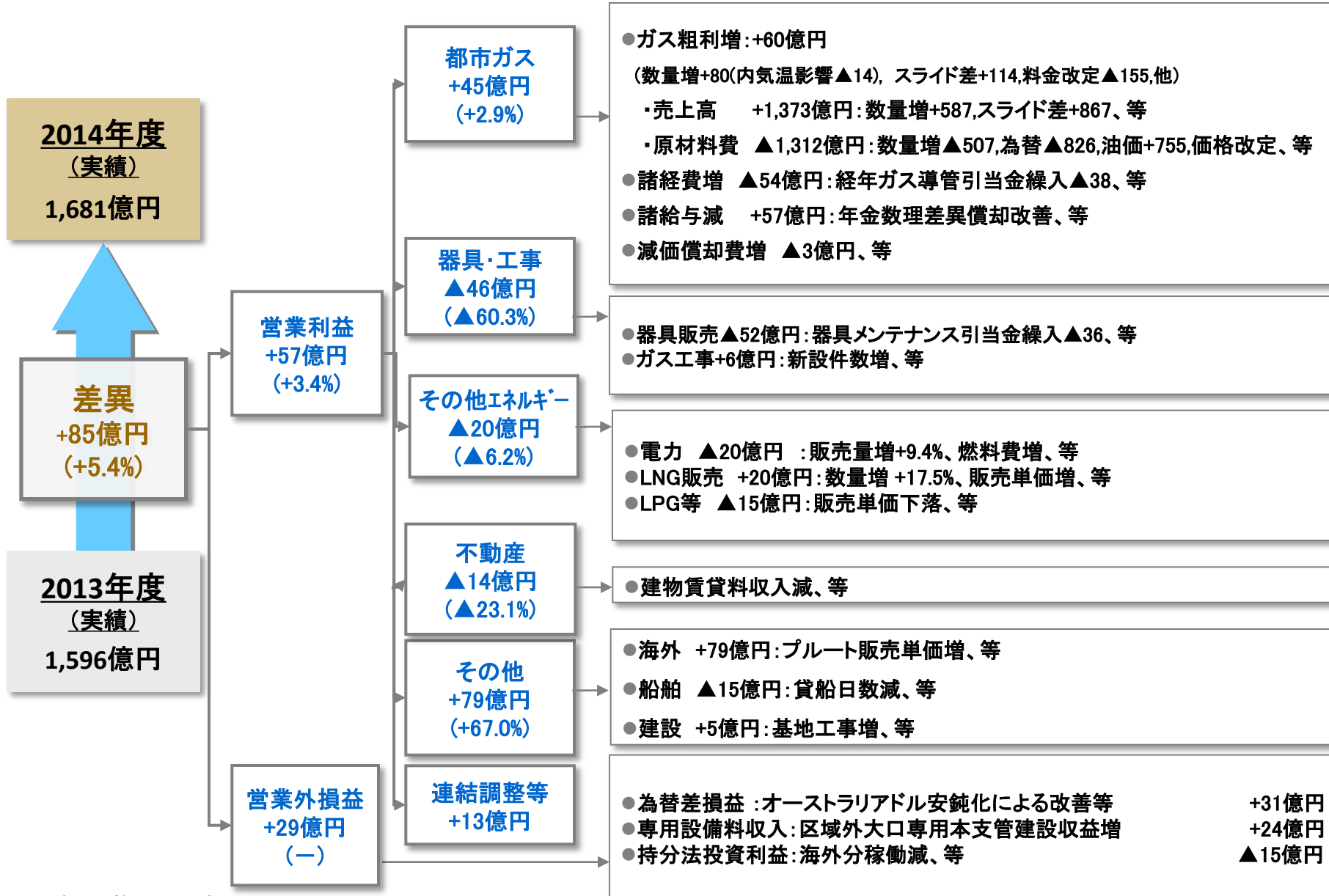
2014年度実績 セグメント別売上高・営業損益(対前年度実績)

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2014年度	2013年度	増減	%	2014年度	2013年度	増減	%
都市ガス	16,409	15,051	1,358	9.0	1,571	1,526	45	2.9
器具及びガス工事	2,049	2,217	▲168	▲7.6	30	76	▲46	▲60.3
その他エネルギー	4,082	3,575	507	14.2	305	325	▲20	▲6.2
(電力事業)	1,658	1,359	299	22.0	224	244	▲20	▲8.0
不動産	259	283	▲24	▲8.4	43	57	▲14	▲23.1
その他	2,262	1,993	269	13.5	195	116	79	67.0
(海外事業)	405	221	184	83.4	107	28	79	271.6
調整額	▲2,137	▲2,000	▲137	—	▲428	▲441	13	—
連結	22,925	21,121	1,804	8.5	1,717	1,660	57	3.4

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
 - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」、「LNG販売」を含みます。
 - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
 - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
 - ・ ()内は内数表示

2014年度実績 経常利益分析 <対前年度実績>



※符号は利益の貢献に対して表示

設備投資

設備投資	主な件名	【参考】13年度実績
東京ガス: 1,587億円 (+199億円, +14.3%)	製造設備 : 359億円 (+70億円) 日立LNG基地建設等	東京ガス: 1,388億円
	供給設備 : 1,014億円 (+107億円) 茨城～栃木等幹線整備、需要開発関連等	
	業務設備等: 213億円 (+23億円) システム関連投資、田町開発関連等	
連結子会社計: 704億円 (▲419億円, ▲37.3%)	・海外上流投資291億円(▲453億円) パーネットガス田(前年度)等 ・扇島パワー161億円(+68億円) ・オンサイトエネルギー93億円(▲20億円) 等	連結子会社計: 1,123億円
合 計 2,245億円 (▲235億円, ▲9.4%, 連結消去後)		合計: 2,480億円 (連結消去後)

※（ ）内増減は対前年度実績の数値

投融資

▲45億円(投融資36億円、回収▲81億円、対13年度+45億円)

- 当社は、財務方針において総分配性向(連結当期純利益に対する配当と自社株取得の割合)の目標を、2020年度に至るまで各年度6割程度とし、配当と自社株取得により株主還元を行っている。
- 2015年度についても上記方針を順守し、以下の通り株主還元を実施する。
 - ・通期10円配当の継続
 - ・自社株取得については340億円・5千万株(2.0%)をそれぞれ上限に消却目的で取得

総分配性向60%を維持

総分配性向
60.9%

2014年度
配当額
244億円

+

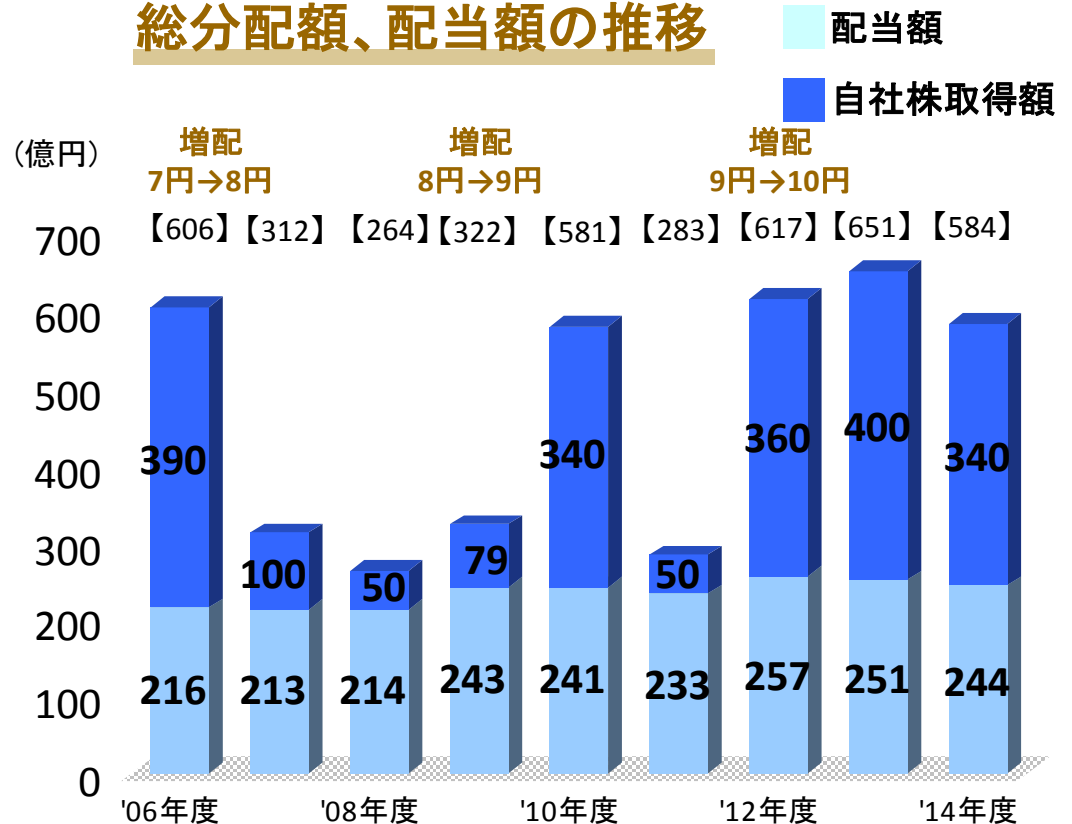
2015年度
自社株取得
340億円

=

2014年度
連結当期純利益
958億円

※発行済株式総数:2,446,778,295株(2015年3月31日現在)

総分配額、配当額の推移



総分配性向 (60.1%) (73.6%) (63.4%) (60.1%) (60.9%) (61.4%) (60.7%) (60.0%) (60.9%)

2. 2015年度 通期見通し

ポイント 減収増益

(+、-、+/-、▲は利益に対する影響を示す、億円)

売上高	▲4,035	-	都市ガス	(▲3,379:原料費調整制度による販売単価減、等)
		-	電力	(▲494:市場価格下落による販売単価減及び販売量減、等)
営業費用	+3,717	+	都市ガス原材料費	(+3,364:原油価格下落による原料単価減、等)
		+	電力営業費用	(+325:単価減・販売量減による燃料費減、等)
営業利益	▲317	-	電力	(▲169:市場価格下落による販売単価減及び販売量減、等)
		-	海外	(▲103:原油価格下落による販売単価減、等)
		-	都市ガス	(▲44:減価償却費他固定費増、等)
特別損益	+210	+	(前期)減損損失▲309、固定資産売却益+61、投資有価証券売却益+50 (単位: 億円)	

	2015年度	2014年度	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	15,571	15,541	+30	+0.2
売上高	18,890	22,925	▲4,035	▲17.6
営業費用	17,490	21,207	▲3,717	▲17.5
営業利益	1,400	1,717	▲317	▲18.5
経常利益…①	1,340	1,681	▲341	▲20.3
当期純利益*	1,010	958	+52	+5.4

* 2015年度より「親会社株主に帰属する当期純利益」へと表記が変更。

気温影響…②	0	▲40	+40	—
スライドタイムラグ…③	225	278	▲53	—
年金数理差異償却額…④	▲23	30	▲53	—
補正経常利益①-(②+③+④)	1,138	1,413	▲275	▲19.5%

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
今回見通し	120.00	60.00*	15.8
前年度実績	109.76<+10.24>	90.35<▲30.35>	16.0<▲0.2>

年金	運用利回り ※コスト控除後	割引率		期末資産 (億円)
		年金分	一時金分	
14年度	5.57%	0.829%	0.358%	2,810
13年度	1.61%	1.168%	0.571%	2,730

<>内対前年度増減

*上期55.00 下期65.00

14年度実績→15年度見通し

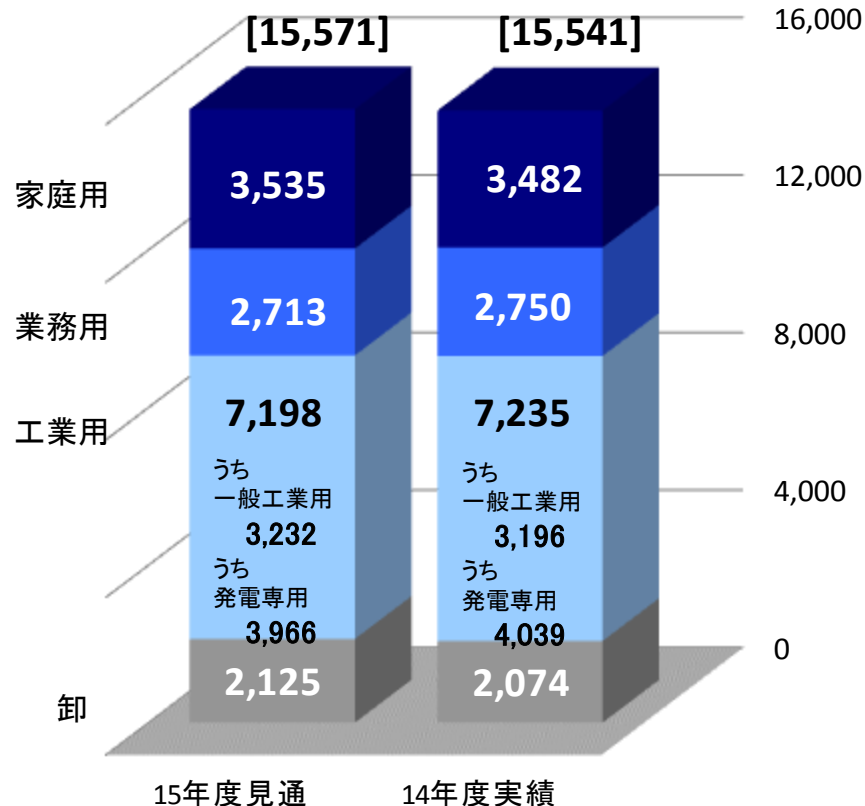
+30百万m³ (+0.2%)の増加

[うち気温影響 + 48百万m³, +0.3%の増加]

<p>■ 家庭用 +53百万m³ (+1.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 気温要因 +56百万m³ ● 日数影響 +10百万m³ ● お客さま件数 +46百万m³ ● その他 ▲59百万m³
<p>■ 業務用 ▲37百万m³(▲1.3%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 気温要因 ▲8百万m³ ● 日数影響 +9百万m³ ● お客さま件数 +13百万m³ ● その他 ▲51百万m³
<p>■ 工業用 ▲37百万m³ (▲0.5%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一般工業用: +36百万m³ ● 発電専用: ▲73百万m³
<p>■ 卸 +51百万m³ (+2.4%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 気温要因 +7百万m³ ● その他 +44百万m³ <p>卸供給事業者需要増等</p>

ガス販売量:

百万m³



お客さま件数 (万件)

2015年度見通し	2014年度実績	増減
1,138.8	1,126.3	+12.5(+1.1%)

	2015年度	2014年度	増減
LNG液販売量 (千t)	1,237	920	+317
平均気温 (°C)	15.8	16.0	▲0.2

見通し

■ トーリングによるガス使用量込(単位:百万m3)

	2015年度	2014年度	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	15,571	15,541	+30 +0.2%
トーリングによる ガス使用量	1,560	1,669	▲109 ▲6.5%
合計	17,131	17,210	▲79 ▲0.5%

2020ビジョンベース: 18,678百万m³ 18,360百万m³ +318百万m³ (+1.7%)

■ 工業用ガス販売量内訳(単位:百万m3)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	1,587	2,379	3,966
対前年度実績	▲2(▲0.1%)	▲71(▲2.9%)	▲73(▲1.8%)
一般工業用	205	3,027	3,232
対前年度実績	▲1(▲0.2%)	+37(+1.2%)	+36(+1.1%)
合計	1,792	5,406	7,198
対前年度実績	▲2(▲0.1%)	▲34(▲0.6%)	▲37(▲0.5%)

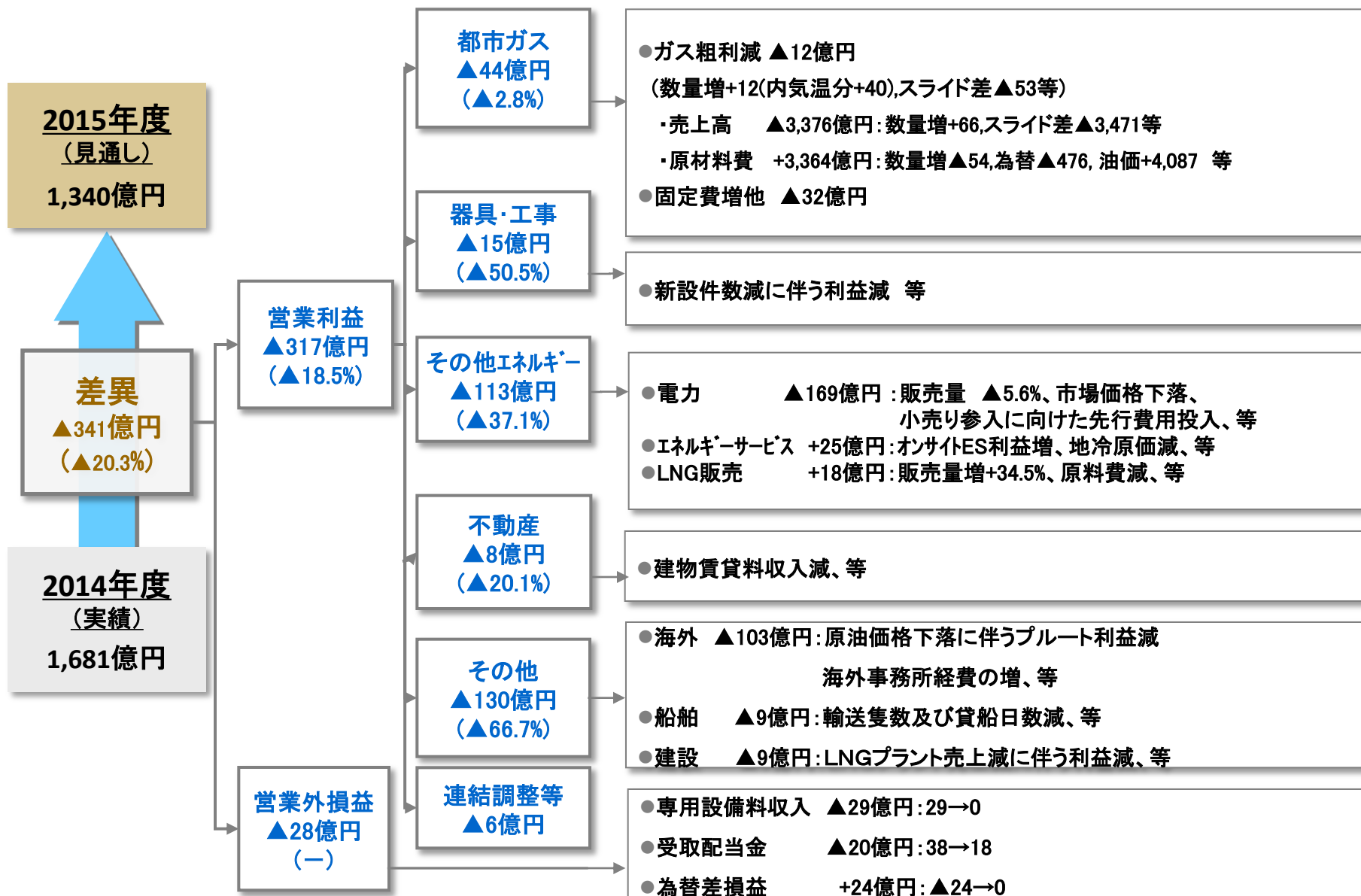
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2015年度	2014年度	増減	%	2015年度	2014年度	増減	%
都市ガス	13,030	16,409	▲3,379	▲20.6	1,527	1,571	▲44	▲2.8
器具及びガス工事	2,093	2,049	44	2.1	15	30	▲15	▲50.5
その他エネルギー	3,387	4,082	▲695	▲17.0	192	305	▲113	▲37.1
(電力事業)	1,164	1,658	▲494	▲29.8	55	224	▲169	▲75.5
不動産	247	259	▲12	▲4.8	35	43	▲8	▲20.1
その他	1,978	2,262	▲284	▲12.6	65	195	▲130	▲66.7
(海外事業)	340	405	▲65	▲16.2	4	107	▲103	▲96.3
調整額	▲1,845	▲2,136	291	—	▲434	▲428	▲6	—
連結	18,890	22,925	▲4,035	▲17.6	1,400	1,717	▲317	▲18.5

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
 - ・ 「その他エネルギー」には、「エネルギーサービス」、「液化石油ガス」、「電力」、「産業ガス」、「LNG販売」を含みます。
 - ・ 「その他」には、建設事業、情報処理サービス事業、船舶事業、クレジット・リース事業、海外事業等を含みます。
 - ・ 営業損益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
 - ・ ()内は内数表示

2015年度見通し 経常利益分析

〈対前年度実績〉



※符号は利益の貢献に対して表示

設備投資

設備投資	主な件名	【参考】14年度実績
東京ガス: 1,908億円 (+321億円, +20.2%)	製造設備 : 401億円 (+42億円) 日立LNG基地建設等	東京ガス: 1,587億円
	供給設備 : 1,036億円 (+22億円) 茨城～栃木等幹線整備、需要開発関連等	
	業務設備等: 470億円 (+257億円) システム関連投資、田町開発関連等	
連結子会社計: 827億円 (+123億円, +17.4%)	<ul style="list-style-type: none"> ・海外上流投資 269億円(▲22億円) ・扇島パワー75億円(▲86億円) ・オンサイトエネルギー76億円(▲17億円)等 	連結子会社計: 704億円
合 計 2,700億円 (+455億円, +20.2%, 連結消去後)		合計: 2,245億円 (連結消去後)

※（ ）内増減は対前年度実績の数値

投融資

315億円(投融資334億円、回収▲19億円、対前年度+360億円)

主要計数表(連結)

(単位: 億円)

	2015年度 見通し	2014年度 実績	2013年度 実績
総資産 (a)	23,200	22,576	21,768
自己資本 (b)	11,110	10,695	10,117
自己資本比率 (b)/(a)	47.9%	47.4%	46.5%
有利子負債 (c)	7,630	7,307	7,138
D/E レシオ (c)/(b)	0.69	0.68	0.71
当期純利益 (d)*	1,010	958	1,084
減価償却 (e)	1,430	1,418	1,403
営業キャッシュフロー (d) + (e)	2,440	2,376	2,488
設備投資 (Capex)	2,700	2,245	2,480
ROA: (d) / (a)	4.4%	4.3%	5.2%
ROE: (d) / (b)	9.3%	9.2%	11.2%
TEP	246	434	507
WACC	3.5%	3.6%	3.2%
総分配性向	60%程度予定	60.9%	60.0%

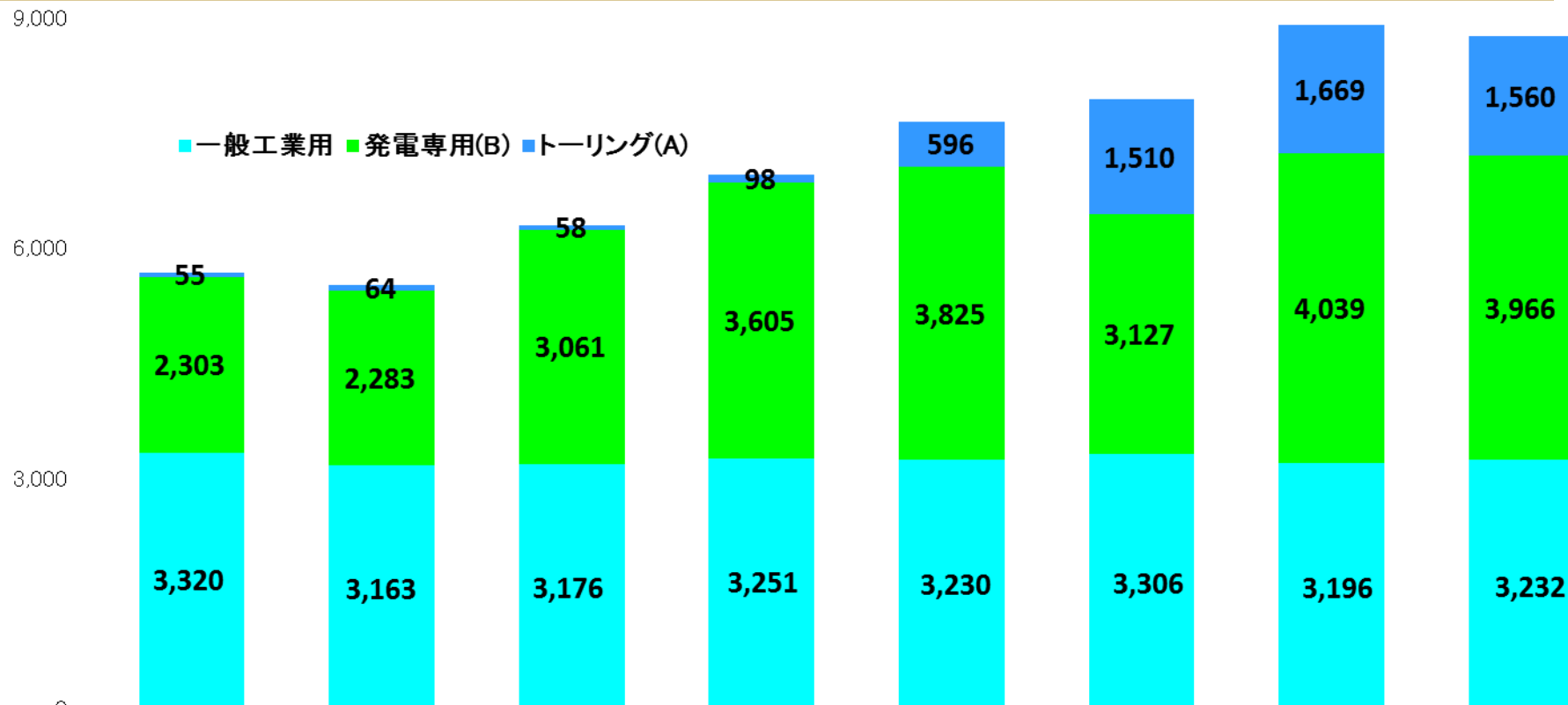
注: 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分
 ROA = 純利益 / 総資産 (期首・期末平均)
 ROE = 純利益 / 自己資本 (期首・期末平均)
 BS関連数値は各期末時点の数値
 営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却 (長期前払費用償却含む)
 総分配性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益

TEP (Tokyo Gas Economic Profit) について
 TEP = NOPAT - 資本コスト (投下資本 × WACC)
 WACC 算定諸元 (2015年度見通し)
 ・有利子負債コスト 実績金利 1.1% (税引後)
 ・株主資本コスト率
 ・リスクフリーレート 10年国債利回 0.63%
 ・リスクプレミアム 5.5% β 値 0.75
 ・資本金 = 時価総額

* 2015年度より「親会社株主に帰属する当期純利益」と表記が変更。

3. 参考資料

連結工業用ガス販売量推移



	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15
合計	5,678	5,510	6,295	6,953	7,651	7,943	8,904	8,758
トーリング(A)	55	64	58	98	596	1,510	1,669	1,560
発電専用(B)	2,303	2,283	3,061	3,605	3,825	3,127	4,039	3,966
一般工業用	3,320	3,163	3,176	3,251	3,230	3,306	3,196	3,232
電力用ガス(A)+(B)	2,358	2,347	3,119	3,703	4,421	4,637	5,708	5,526

※リーマンショック

※東日本大震災

(見直し)

原油価格JCCが \$1/bbl 上昇する場合

(単位:億円)

		収支影響時期				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
変動時期	第1四半期	▲4	▲8	+9	+5	+2
	第2四半期		▲3	▲8	+13	+2
	第3四半期	—	—	▲4	▲12	▲16
	第4四半期	—	—	—	▲6	▲6
	通 期	▲4	▲11	▲3	0	▲18

円ドルレートが ¥1/\$ 円安になる場合

(単位:億円)

		収支影響時期				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
変動時期	第1四半期	▲7	+5	+1	0	▲1
	第2四半期	—	▲7	+6	+3	+2
	第3四半期	—	—	▲8	+8	0
	第4四半期	—	—	—	▲12	▲12
	通 期	▲7	▲2	▲1	▲1	▲11



＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

TSE:9531